



板倉 健氏

オーブン カレッジ

近年TPP (Trans

Pacific Par
 tnership: 環太平

洋経済連携協定) を巡る議

論が国内で活発に行われて

います。TPPはその交渉

内容の情報公開が十分では

ないため、建設的な議論を

行うことが難しい状況にあ

ります。ここでは、不確か

.....

いたくら けん 国際経

済、パデュー大学Ph

D. 1969年生まれ。

な情報をもとに個別の交渉
内容について述べるのでは
なく、そもそもTPPが掲
げる目標の重要性について
再確認します。TPPの目
標は、より広範な経済活動
の高い水準での自由化を目

Pから世界全体の多角的貿
易制度を補完強化してい
く大きな役割も期待されて
います。
第2次世界大戦の一因で
あった世界経済のブロッ
ク化や保護主義的な貿易政策

FTAとEPAについて

指し、FTAAP (Fre
 e Trade Area

of the Asia

Pacific: アジア

太平洋自由貿易圏) への道

筋をつけることにありま

す。また、TPPからFT

AAへ、そしてFTA

として、現在ではWTO

を排して、貿易における無

差別原則を基礎とする多角

的な貿易ルールを、世界中

の国々が協力して構築して

きた歴史を我々は共有して

います。そのウルグアイ・

ラウンド交渉の成果の1つ

として、現在ではWTO

TPP交渉 十分な情報公開を

(World Trade
 Organization

: 世界貿易機関) が多角

的貿易体制の維持において

中心的な役割を担っていま

す。多角的な貿易自由化を

通じて世界経済の成長に寄

与してきた事実の一方で、

2001年からのドーハ・

ラウンド交渉が新興国と先

進国との対立により膠着し

た状況が続いてきました。

多角的貿易交渉が停滞す

ると同じ時期に、FTA

(Free Trade A

greement: 自由貿易

協定) とEPA (Econo

mic Partnership:

TPP Agreement:

経済連携協定) を締結する動き

が世界中で急速に広がりまし

た。FTAは相手国との間で、

物品やサービスの貿易に係る関

税や障壁等を削減・撤廃するこ

とを目的にした協定です。EP

AはFTAに加えて投資や人の

移動、知的財産保護、競争政策

に関するルール作り、多分野で

の国際協力を含めたより広範な

協定です。FTAやEPAの急

速な拡大は、WTOを中心とし

た多角的貿易制度との整合性

や、既存の協定への参加希望国

の取り扱いに対する懸念も生み

ました。

FTAとEPAの複雑な編

み目が世界を覆う現状は、高

水準広範囲の自由化を目指す

協定の統合へと変化し始めて

います。TPPのみならず、

FTAAPや、RCEP (R

egional Compr

ehensive Econ

omic Partners

hip: 東アジア地域包括的

経済連携) など、多角的貿易

制度に資すると期待される統

合への動きがあります。無差

別原則に基づく貿易ルール作

りに貢献するかどうか重要な

であり、そのためにもTPP

交渉内容は公開共有される必

要があります。

統合に向けた動きが、今年

インドネシアで開催されるW

TTO会合に寄与することが期

待されています。

